

サステナブルアクション：

## シングルユースプラスチック製品の削減



株式会社パレスホテルでは、「未来を、もてなす。」のサステナビリティコンセプトのもと、持続可能な社会を目指す取り組みの一環として、使用するストローの紙製または生分解性プラスチック製への切り替え、バイオマスプラスチック製のゴミ袋の採用、テイクアウト用カトラリーについては素材の変更と配布方法の見直しなど、シングルユースプラスチック製品の使用量削減に取り組んで参りました。

当社が運営する2施設（パレスホテル東京・Zentis Osaka）に於いて「プラスチック資源循環法」が指定する対象12品目のプラスチック使用量は、年間で約1.7トン。今後は、すでに一部を代替素材に移行しているヘアブラシ、くし、カミソリ、歯ブラシなどの客室アメニティ（包材を含む）を、更なる環境配慮型の製品への移行を進め、ハンガーと衣類用カバーについてもプラスチック使用量の少ない製品へと切り替えることで、2024年までにプラスチック使用量を約60%削減（対2019年比）することを目指します。

2022年(令和4年)4月1日に施行の「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」（略して「プラスチック資源循環法」）

増加する海洋プラスチックごみ問題、気候変動問題、諸外国の廃棄物輸入規制強化等への対応を契機として、国内におけるプラスチックの資源循環を一層促進する重要性が高まっています。

幅広い課題を背景に、最終的には脱プラを前提とした経済活動に向けて施行されたこの法律に於いて、ホテルではお客様に無料で提供している12品目を対象に、年間5トン以上を提供する施設に対しては、有料化や原材料の変更といったプラスチック使用量の削減対策が求められます。

- フォーク
- スプーン
- ナイフ
- マドラー
- ストロー
- ヘアブラシ
- くし
- カミソリ
- シャワーキャップ
- 歯ブラシ
- ハンガー
- 衣類用カバー

サステナビリティコンセプト

### 未来を、もてなす。

サステナビリティへの取り組み 3本の柱

人にやさしいおもてなし  
社会とつながるおもてなし  
自然と生きるおもてなし